

『さっきゃま魂』

R3. 7. 20 第8号

発行人：校長 中山 末永

1学期をふり返って・・・

1年生は70日。2～6年生は72日の1学期でした。学期後半は、蒸し暑い日が続き、子ども達にもやや疲れが見られましたが、大きな事故・けがもなく無事に終業式を迎えることができ、嬉しく思っています。終業式の中では、「さっきゃま魂」の4つの心について、子ども達の様子・変容について次のような話をしました。

【自主】自分から、元気よく挨拶をする人がたくさんいます。

【友愛】いろんな学年の友達と仲良く遊び、下級生に優しく声をかけています。

【錬磨】朝から、汗をいっぱいかきながら運動場を走る人が増えてきました。

【勤労】自分の役割を考えながら、黙々と掃除を頑張っています。

この他にも、いろんな場面で4月とは違った子ども達の姿を見ることができ、一人一人の確かな成長を感じています。

明日から、待ちに待った夏休みが始まります。充実した夏休みにするためにも、「今年の夏、何を頑張るのか。」自分なりの目標を決めて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

また、ニュース等では、子どもが犠牲になった交通事故・水の事故も、たくさん報道されています。学校でも、繰り返し指導をしています。ご家庭におかれましても、出かける前の声かけをよろしく願いいたします。

コロナ禍の影響で、保護者・地域の皆様には、教育活動を十分に公開することができず、大変申し訳なく思っています。そのような中であっても、いつも温かく見守り、力強く応援して下さる皆様に心から感謝しています。皆様のご理解とご協力のおかげで、充実した1学期でした。本当にありがとうございました。

「大切な命」を守るために！

7月15日（木）五島市消防署の皆様のご指導で、水泳安全教室を実施しました。夏休みを前に、万一の事故に備えて、自分や大切な友達の命を守るための方法を学びました。

「海に落ちたら、着ている服・靴はどうしますか？」

「おぼれている人を見つけたら、どうしますか？」

消防署の方からの質問に対して、自分の考えをどんどん発言する人がたくさんいました。子ども達の積極的な反応のおかげで、スムーズに学習が進み、学びを深めることができました。

説明の後は、実際に服・靴を着けたまま泳いだり、溺れている人を助ける訓練をしたりしました。しかし、実際に子どもだけで水の事故を防ぐことはとても困難です。川や海で過ごす場合は、大人が目が必要です。くれぐれも子どもだけの活動にならないよう保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

お知らせ

又井（2組担任）と横枕（養護教諭）が、夏休み中に産休に入ります。2学期以降は、産休代替えによる指導となります。子ども達・保護者の皆様に不安がないよう、しっかり引継を行って今後の指導につなげていきます。新しい命の誕生を、みんなで祝福したいと思っていますので、今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

